

東浦みかん大きくな〜れ

みんなで
読もう

敦賀、地元小中生が摘果



ミカンの摘果作業に励む児童=17日、敦賀市大比田

敦賀市東浦小中の児童生徒が17日、同市大比田のミカン園で地元特産「東浦みかん」の摘果作業を

体験した。今後の順調な生育を願い作業に励んだ。同校は東浦地区の活性化に向けたふるさと学習として「東浦みかんプロジェクト」に取り組み、栽培技術などを学んでいる。摘果は、実が多くなりすぎるのを防ぐために間引き作業で、小学3年以上の30人が参加。ミカン園敦賀フルーツ共和国の水谷弘則さん(67)ら3人が指導した。

約10坪のミカン園では、直径1、2センチの緑色の実が付き始めており、児童生徒は枝に手を伸ばし、実の集まり具合や形を見定め、摘果作業を行った。

中学3年の山本美鈴さん(14)は「どれくらい実を取っていいのか分かりづらかった。秋にはおいしいミカンがいっぱいできると嬉しい」と笑顔で話した。

同校では11月下旬に収穫や販売、来年3月中旬に枝切り作業を予定している。

(山田岳久)